



歌浦っ子だより(学校だより) №26

「やさしい心 夢かがやく 歌小の子どもの育成」

令和4年10月17日 文責:校長 泉 清一

4年生 ふるさと体験学習「パールクィーンに乗船！」

10月7日(金)、4年生が、ふるさと体験学習を行いました。

朝から雨がしとしと降っていたので、パールクィーンに乗れるか心配していましたが、無事に乗ることができました。パールクィーンから見る九十九島は、絶景でした。また、ビジターセンターの飼育員さんから九十九島について教えていただき、とても勉強になりました。

昼からは、少年科学館に行きました。プラネタリウムでは、歌浦小から見える星座や月について学んだり、天体望遠鏡で太陽の黒点を観察したりしました。最後に、液体窒素の実験も見せていただきました。実験では「雲」を作ってもらい、触ることができました。

この体験で学んだことを今後の学習に活かしていきたいと思います！



5年生宿泊学習「カレー作りや沢登いを楽しみました」

10月12日(水)～13日(木)、5年生が世知原少年自然の家で、宿泊学習を行いました。

1日目は、森林グループワークとカレー作り、そして木風小との交流と暗闇体験&星空観察でした。カレー作りでは、玉ねぎを切る時に涙が出てきましたが、上手にカレーを作ることができました。木風小との交流では、ドッジボールをしました。とても楽しかったです。暗闇体験では、暗闇の中の神社でお札を取るのが、とても恐ろしかったです。

2日目は、沢登りをしました。最初は、濡れないように登っていきましたが、滑ったり、転んだりしているうちに、ジャブジャブと水の中に入っていました。だんだん気持ちよくなってきました。ゴールの土管をくぐった時は、「ヤッター！」と喜んでいました。みんな最高の笑顔でした。

この2日間で、たくさんの自然と触れ合いました。また、みんなと協力して活動することの大切さを学んだことと思います。



※裏面に長崎新聞を掲載しています。

ラグビーの指導でタグラグビー教室を楽しむ子どもたち
|| 佐世保市立歌浦小



みんなでタグラグビー

佐世保・歌浦小 体験教室

九州電力の選手らが指導

佐世保市鹿町町の市立歌浦小（泉清一校長、93人）で6日、タグラグビー教室があり、児童がラグビーの指導でラグビーの楽しさに触れた。

九州電力平戸営業所（山下剛所長）の地域貢献活動の一環。九州電力のラグビーチーム「キューデンヴォルテクス」の選手やOB、スタッフら約15人が同校を訪れ、全校児童に指導した。

タグラグビーはタックルの代わりに腰に付けたタグ（ひも）を取られたら、味方にパスをするルール。子どもたちは元気にいっぱいパス回しや実践練習などを体験し、仲間とパスをつなぐ大切さなどを学んだ。

4年生の橋口瑠依さん（10）は「陸上をやっている、スポーツが好き。パスも頑張り、みんなと楽しくできた。皆さんの試合を見たいと思った」と笑顔で語った。（荒木勝郎）

※九州電力キューデンヴォルテクスのホームページにも歌浦小のタグラグビー教室の様子が紹介されています。スマホやパソコンから、「九州電力キューデンヴォルテクス」を検索してみてください。